

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

| 事業名 | 鹿行広域DMOプロジェクト(5市連携) | | | | |
|----------------------------------|---|---------------------|------------------------------|--------------------------------------|--|
| <p>事業の概要 (平成29年度～令和3年度)</p> | <p>FIFAクラブワールドカップ2016で準優勝した鹿島アントラーズと連携した「スポーツ合宿」を柱としたスポーツツーリズムブランドや、農業が盛んな当地域の強みを活かしたグリーンツーリズムブランドを創出するため、鹿行地区版DMOを設立し、国内だけでなくインバウンド向けスポーツ合宿商品、鹿島神宮や水郷特有の観光資源を活用したインバウンド向けフォトウェディング商品及び豊富な農産物を活用した農業体験商品等を造成する。特に、合宿商品では今後増加が見込まれるムスリムに対応するものなどを含め、スポーツ施設や合宿所の増加を図り、ムスリム圏において「海外合宿は日本・鹿行へ」と言われるようプロモーションを推進していく。そのためには、国内外の地勢、政治、経済、旅行先傾向、嗜好等に精通する旅行業務取扱管理者及びマーケティング担当者が、造成した商品を国内のみならず、ムスリム圏をはじめとする海外市場に展開する。その結果、外貨(地域外からのお金)を稼ぐ仕組みが作られるとともに、新たな雇用の創出による地域の活性化が図られる。</p> <p>また、全国に先駆けた観光地域づくりの取組としては、前述のムスリム対応合宿所の増加のほか、国内で利用者が1千万人を超えるスマホアプリ事業者と連携し、DMO実施事業に対する予約体制を構築するとともに、域内市民の統一コミュニケーションツールの作成準備をしている。</p> <p>また、地域商社の要素として、地域資源を活用した土産物や特産品を開発し、マーケティングの手法を駆使して新規開拓を行い、商品の販売を促進していく。</p> | | | | |
| <p>5年間の事業費 ※()は銚田市分</p> | <p>245,138,650千円 (22,682,796千円)</p> | | | | |
| <p>うち交付金 ※()は銚田市分</p> | <p>56,706,990千円 (11,341,398千円)</p> | | | | |
| <p>本事業における 重要業績評価指標(KPI)</p> | <p>指 標</p> | <p>① 観光入込客数</p> | <p>② スポーツ合宿 参加者数</p> | <p>③ スポーツ合宿を目的 とした訪日外国人数</p> | <p>④ スポーツイベント・ 農業体験後の 民泊の売上げ</p> |
| | <p>目標指標値</p> | <p>3,199,727人</p> | <p>32,000人</p> | <p>3,050人</p> | <p>23,495,000円</p> |
| | <p>目標年月</p> | <p>令和4年3月末</p> | | | |
| <p>本事業における実績値</p> | <p>基準値(H28)</p> | <p>2,599,727人</p> | <p>—</p> | <p>—</p> | <p>—</p> |
| | <p>実績値(R3)</p> | <p>1,476,831人</p> | <p>1,787人</p> | <p>0人</p> | <p>45,106,469円</p> |
| | <p>達成度</p> | <p>46.2%</p> | <p>5.6%</p> | <p>0.0%</p> | <p>192.0%</p> |

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

| 事業名 | つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト(県+16市町連携) | | | |
|---|--|--------------------------------|---------------------------------------|---|
| <p>事業の概要 (令和元年度～令和3年度 令和5年度)</p> <p>企業版ふるさと納税を併用したことで、インセンティブが付与され、事業期間を3年間から5年間へ延長</p> | <p>【茨城県】 (1)「関係人口」の創出・深化・・・ローカル志向を持つ東京圏の人材を、地域や地域住民との多様な関わりを持ち地域づくりに貢献する「関係人口」として創出するとともに、多様な関わりの機会の受け皿となる地域住民や企業等を県全体で見える化する。 (2) 持続的に「しごと」が生まれる仕組みの構築・・・「関係人口」が本県地域と関わりながら、地域の活性化や地域課題の解決に取り組むことにより、地域で携わる「しごと」が創出される仕組みを構築する。なお、特に人口減少が進んでいる県北地域においては、クリエイティブ人材に対するコミュニティの育成から「しごと」のマッチングまでを一体的に支援する。 上記の取組を持続可能なものとしていくため、民間の地域コーディネーター等を介した「ひと」と「ひと」、「ひと」と「しごと」のつながりが創出される仕組みを構築(中間支援プラットフォームの構築)</p> <p>【連携市町】 県や中間支援プラットフォームによる東京圏から「関係人口」を呼び込む取組を推進するにあたり、その受け皿となる地域の住民や企業等、地域資源等の掘り起こし発掘や見える化に取り組むとともに、「関係人口」に対して地域と多様に関わる機会を提供する。また、市独自の創業支援施策や中間支援プラットフォームの事業と連携し、「関係人口」が本県内で「しごと」を創出し、定着することを支援する。</p> | | | |
| <p>令和3年度 実施事業内容</p> | <p><関係人口の創出・深化> <新たな「しごと」を創出する仕組みの構築> ・多様な関わりの機会を提供【委託料等】 ¥6,237,000 資源の価値を見直すなど、本市との多様な関わりの機会を提供することにより、関係人口の創出・深化を図るとともに、地域資源を有機的に結びつけられるような検討を進めていく。また、地域課題解決のためのアイデアソンの開催などにより、「関係人口」が本市の地域資源の価値を掘り起こす機会を提供し、関係性の深化を図り、地場産業の新たな担い手となることを後押ししていく。</p> | | | |
| <p>令和3年度事業費 ※()は鉾田市分</p> | <p>250,697,000円 (6,237,000円)</p> | | | |
| <p>うち交付金 ※()は鉾田市分</p> | <p>125,347,000円 (3,118,500円)</p> | | | |
| <p>本事業における 重要業績評価指標(KPI)</p> | <p>指 標</p> | <p>① 移住者数・ 二地域居住者数</p> | <p>② この事業により創出 される「関係人口」数</p> | <p>③ 東京圏のフリーランス等による 新たな「しごと」の創出件数</p> |
| <p>目標指標値</p> | <p>642人</p> | <p>24,770人</p> | <p>85件</p> | |
| <p>目標年月</p> | <p>令和6年3月末</p> | | | |
| <p>本事業における実績値</p> | <p>基準値(H30)</p> | <p>202人</p> | <p>10,770人</p> | <p>0件</p> |
| <p>実績値(R3)</p> | <p>663人 (県からの速報値)</p> | <p>16,853人 (県からの速報値)</p> | <p>29件 (県からの速報値)</p> | <p>29件 (県からの速報値)</p> |
| <p>達成度</p> | <p>103.3%</p> | <p>68.0%</p> | <p>68.0%</p> | <p>34.1%</p> |

◇◇◇地方創生推進交付金に係る事業の概要◇◇◇

| 事業名 | 「農業と観光のハーモニー」 DAPPE project |
|-------------------------------------|---|
| <p>事業の概要 (令和2年度～ 令和4年度)</p> | <p>従来の行政の枠組みを超えた本市の特性を活かした「農業・農産物」をツールとした多様な観光推進事業を推進するため、その中心的な役割を担う一般社団法人(仮称)銚田市観光物産協会を設立し、市直売所のリニューアルに併せ、観光客が市内を観光する足掛かりとなる情報発信機能を持たせ、農業体験事業やイベント等、誘客につながる取り組みを進めていく。</p> <p>農業・農産物をツールとした観光コンテンツの創出、それらを活用した市内回遊・滞留の仕組みづくり、地域ブランドを活かした商品開発やその販路拡大を進めていく。</p> <p>また、戦略的な情報発信を展開することで、銚田市への観光入込客数の増加を目指す。実需者である観光客と農業生産者との交流の中で、ただ生産するのではなくマーケット・イン思考な農業をつくり、地域の「稼ぐ力」の向上とさらなる雇用の創出を目指していく。</p> <p>さらに、流行に敏感な都会の若者をターゲットとした交流事業を実施することで、地元住民には気づかない農産物の付加価値の付け方を模索するとともに、「稼げる農業」に興味のある都会の若者の移住等に繋げていく。</p> <p>更に、市内の他の事業者・他業界(直売所や飲食店組合等)と連携し、点の取組でなく、面の取組として、交流人口の増加や地域活性化の相乗効果を高めていく。</p> <p>加えて、都市部女性と農業者の交流事業やプロモーションを通じて、都市部女性の取り込みや交流人口拡大を行う。</p> |
| <p>令和3年度 実施事業内容</p> | <p>■一般社団法人(仮称)銚田市観光物産協会の運営に係る経費 19,776,253円</p> <p>当協会の本格的始動年度とし、銚田市の強みである農業を最大限活かした農業体験などの農業×観光レジャーのツアー等を商品化し、国内観光客の誘客に向け検討、実施。また、直売所の指定管理の開始に向けた準備。農産物通信販売や新たなブランド商品の開発、商品化の実施に向けた準備。</p> <p>一般社団法人(仮称)銚田市観光物産協会 運営補助金 19,776,253円 内訳 人件費 13,526,253円 事務費 6,250,000円</p> <p>■銚田市地域資源ブランド力向上事業 27,885,000円</p> <p>○メディアへの露出・消費者の関心をひくキャンペーンの企画・運営 7,965,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンサー等を活用したPRキャンペーン ○農産物のブランド化戦略 9,995,000円 ・有名シェフ監修により、話題性や付加価値を高めた農産物ポップアップストアの開設 ・商業施設、飲食店と連携したメニューフェアによる認知度及び付加価値向上策 ○就農意欲の喚起、人材育成、担い手確保 4,938,500円 ・市内学生向け食育事業の企画運営による「シビックプライド」の啓発 ・生産者講演会、生産者研修、就農支援の情報発信強化を実施し、人材育成・担い手の確保を図る。 ○消費拡大・需要喚起事業 4,986,500円 ・生産者と連携した消費宣伝を行うことで、消費拡大を目指す ・販売促進資材の企画及び製作 <p>■シティプロモーション事業 10,890,000円</p> <p>前年に作成したツールに加え、実際に移住した若者の自分らしい暮らし方や働き方に特化した動画を作成し、都市住民に対しプロモーションしていく。また、農業に興味を持つ都市部の若い女性と農業者が直接交流する事業を検討・実施し、交流人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者女性に特化した動画製作費(委託事業) 9,801,000円 ・都市部女性と農業者の交流事業費(委託事業) 1,089,000円 |

| | | | | | |
|----------------------------------|-------------|-------------------|-----------------|-----------------------|------------------------------|
| 令和3年度事業費 | 58,551,253円 | | | | |
| うち交付金 | 29,275,626円 | | | | |
| 本事業における 重要業績評価指標 (K P I) | 指 標 | ① 観光入込客数 | ② 滞在人口率 | ③ 農業産出額 | ④ この事業により創出 される「関係人口」数 |
| | 目標指標値 | 1,219,100人 | 0.986倍 | 76,910,000千円 | 60人 |
| | 目標年月 | 令和5年3月末 | | | |
| 本事業における実績値 | 基準値(R1) | 1,069,100人 | 0.98倍 | 75,410,000千円 | — |
| | 実績値(R3) | 850,900人 (見込み) | 0.973倍 (見込み) | 63,878,000千円 (見込み) | 95人 |
| | 達成度 | 69.8% | 98.6% | 83.1% | 158.3% |